

深化の過程



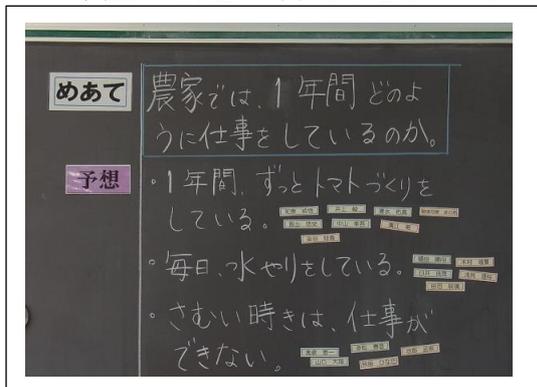
2021.05.28
No.4

③「生徒指導の3機能を生かした指導の継続」って？

生徒指導の3機能とは「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」を指します。これまでも児童1人1人のよさを認め、ほめ、伸ばす指導を意識し、授業中においてもこの3機能を生かした指導を計画的に行って、児童の学習意欲を引き出してきたと思います。授業中に生徒指導の3機能をさらに効果的に生かすために、藤岡市ではネームプレートの活用を推進しています。活用方法としては次のようなものが考えられます。

- ①自分の意見や考えを表出させる手立てとして
- ②対話的な学びを展開させる学び合いや協働的な学習を機能させながら児童の発言をつなぐ手立てとして

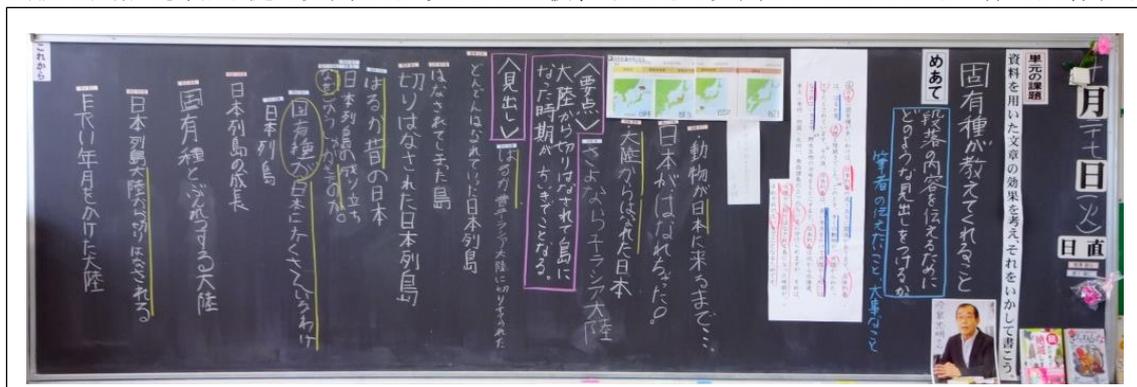
例1：3年社会 課題に対する予想を立てさせた後、1人1人の予想を全体で共有する。



- 自分の予想を立てられた（自己決定）。
- 自分のネームプレートが黒板に貼られた。（自己存在感）
- 〇〇さんは私とは違う予想だ。そういう考えもあるな。（共感的人間関係）。

例2：5年国語（宇津木先生）

形式段落の要点を捉え見出しを考えさせた後、なぜその見出しにしたのかを全体で共有する。



- 形式段落の中に示されるキーワードをもとに要点をとらえ、形式段落の見出しを考えさせる。（自己決定）
- 考えた見出しを、ネームプレートを活用して板書する。（自己存在感）
- 出された見出しや、なぜその見出しにしたのかという理由を全体で共有することにより、児童の思考を深め、広げさせる。（共感的人間関係）

※生徒指導の3機能を生かして児童の学習意欲を高めるとともに、児童の学びを広げ深める手立てとして効果的に活用できるとよいのかなと思います。まずは、使って、貼っていきましょう！（文責：山崎）

